

# 優勝

## 鹿沼市防火保安協議会主催 第41回 消化技術競技会

### 1位 おりづる女子チーム

平山（事務所）、武田（特養6・7丁目）

### 3位 おりづる男子チーム

山本（居宅）、福田裕哉（特養1・2丁目）



**武田 亜佐美（特養 リーダー）**  
今回の大会参加に際し、練習を重ねてきました。会場に行くとき霧囲気や実際の火点を消化するという事もあり緊張しましたが、練習通り行えて良かったです。  
日頃から施設内にて避難訓練を実施していますが、改めて、訓練の重要性を感じ、今後に繋げていきたいと考えます。



**山本 高史（居宅 介護支援専門員）**  
会場の霧囲気慣れず、とても緊張しましたが、ですが、いい緊張感の中で実施し、良い経験ができたと思います。今後の訓練などに活かしていきたいと考えます。



毎年参加させて頂いています「鹿沼市消化技術競技会」に、今年初めて「男子・女子」2チームを結成し、参加しました。4人は、施設の代表として練習と準備を重ね、良い緊張感のなか、練習通り行う事ができ、このような素晴らしい結果を残すことができました。心から嬉しく誇りに思います。  
介護施設は多数のお年寄りが生活をし、安心安全を提供する場所です。もしもの時の災害、天災時に冷静に確実な対応が求められますので、今後も施設一丸となり防火保安に努めていきます。 施設長 佐藤 歩

平成29年10月25日（水曜日）発行  
**下野新聞**

鹿沼市消防本部が主催する「消化技術競技会」が24日、市消防本部訓練場で開かれ、男子の部は組、女子の部に6組が消防器具を使った消化技術を競った。同協会加入事業所会員の技術向上を目的とし、41回目。市内14事業所が参加。競技は指揮担当者と消防担当事者の2人で、声掛け、消火器の操作、オイルパンから燃え上がる火を確実に消すまでの時間などを審査。参加者は機敏な動きで練習の成果を披露した。

**機敏に確実に 消化技術競う**  
14事業所参加し大会主催の消化技術競技会が24日、市消防本部訓練場で開かれ、男子の部は組、女子の部に6組が消防器具を使った消化技術を競った。同協会加入事業所会員の技術向上を目的とし、41回目。市内14事業所が参加。競技は指揮担当者と消防担当事者の2人で、声掛け、消火器の操作、オイルパンから燃え上がる火を確実に消すまでの時間などを審査。参加者は機敏な動きで練習の成果を披露した。

**高野の所では**  
「真岡にいらなら一度のピニール張り、水やり、はイチゴ作りを体験しな 受粉作業など、観光イチギヤ。真岡市内の知人ゴ狩りでは見えない地味に誘われ9月中旬、そこで根気のある作業が収穫実家であるイチゴ農家を、まで続く。

**宇都宮市 高野にも 山本 一さん**  
成する指定店会（山中一会長）の研修会を駒生町で開いた。写真。五輪メダリスト 平野さんが講演。宇都宮 県学校生活協同組合（伊藤和夫理事長）はこのほど、鹿沼市出身でロンドン五輪卓球女子団体銀メダリストの平野早希さんが講師に迎え、提携103社で構成する研修会には約100人が参加。中にはアマチュアスポーツに携わっている人もあり、「競技に悩んだ時、古武術の達人から体の動きを全てボールに伝える術を学んだ話」は、全てのスポーツに通じるのでは、などと感想を述べていた。

**「少し緊張した。練習を積み重ねてきた」と振り返った。**  
主な結果は次の通り。  
▽男子の部 ①松井電器産業（岡村繁樹、馬場洋介）②友都テクノニカ（ルンゴウ）③住友電工（佐藤）  
▽女子の部 ①特別養護老人ホーム（平山）②特別養護老人ホーム（武田）③希望の家（佐藤）

自らの体験基に  
の2017年産  
とすはJAが野  
管内を管  
芳賀市を  
感  
の2017年産  
とすはJAが野  
管内を管  
芳賀市を